

令和3年度学校自己評価システムシート (県立川口青陵高等学校) S25

目指す学校像	地域と連携して自立を支援し、「進んで学び、実践できる生徒」を育成する学校
--------	--------------------------------------

重点目標	1 学習支援を充実させ、生徒に「学ぶ楽しさ」を体験させることで、「主体的・対話的で深い学び」を促す。 2 基本的な生活習慣の確立から自律心と社会性を身に付けさせ、3年間を見通した進路指導を実現する。 3 学校の情報発信と地域との連携を積極的に推進し、社会に貢献できる生徒を育成する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
1	【現状】 ○感染症対策を取りながら教育活動の継続ができています。朝学習から授業への流れが定着し、生徒の学びの姿勢が向上している。 ○ICT機器を活用したリモートでの学習が整備されつつある。 【課題】 ○部活動等との両立を目指しながら、どのように学習時間を確保し、さらなる主体的な取組へと変えていくかが課題である。 ○ICT機器の活用と研修を推進する。一方でBYODネットワークの活用における課題や情報モラル等の生徒指導上の課題を解決する。	○主体的学習を促す取組と感染症対策により登校できない生徒の学習保障を100%行う。 ○授業改善の手段として、教職員のICT機器活用率を80%以上とする。	①家庭学習用教材を提示する。(オンライン動画教材等の紹介) ②各教科における計画的な週末課題を提示する。 ③感染症対策を講じた日常学習指導を徹底し、進路希望に応じた面談、補習等の対応を工夫して実施する。 ①授業力向上に係る研修会を実施し、ICT機器を活用した指導方法を研究する。 ②オンラインによる授業支援環境を整備する。 ③教員間授業観察を実施し、教科会の充実と情報共有を促す。	①②生徒アンケート「授業以外の学習時間」による取組状況及び「学習支援のための動画等補助教材の配信視聴に対する有効意識」の度合 ③校内の感染症発生状況及び生徒・保護者アンケート「基礎学力向上」「授業改善」の要望度合 ①生徒アンケート「授業のわかりやすさ」の肯定度合80%以上 ②オンラインによる授業支援環境の整備状況 ③教員間授業観察の実施状況と授業力向上に係る外部研修会等の参加状況			
2	【現状】 ○生活習慣を確立させ、生徒個々の進路実現に向けて教員による寄り添いながらの指導が計画的に実践されている。 【課題】 ○生徒自身の向上心をさらに高める。手帳等による指導を継続し、生徒自身の学習計画等における自己管理を強化させる。 ○落ち着いた学校生活を継続させる。9割以上が自転車通学なので、交通マナーに留意させ交通安全指導を充実させる。 ○感染症拡大防止に留意して、生徒会をはじめ委員会生徒などの主体的な取組を増やす。可能な限りの学校行事の実施と部活動加入率の向上および活動実績の向上を目指す。	○社会情勢に対応しながら、生徒個々の多様な進路希望を実現する。 ○感染症防止対策を講じながら、すべての学校行事を実施するとともに特別活動を活性化させる。	①「学びの基礎診断テスト」を有効活用し、個々の進路に対応した講習開講や就職支援アドバイザーによる面接指導等を充実させる。 ②「総探の時間」を工夫し、手帳やキャリアパスポート等の記録により進路意識を向上させる。 ①例年通りの活動ではなく新しい視点での企画を立案する。 ②1年生の全員入部を完全実施する。	①生徒・保護者アンケート「進路指導充実度」90%以上、進路実績状況 ②手帳甲子園の継続実施や「総探の時間」等でのキャリア教育に係る啓発的取組の実施状況 ①学校行事の実施状況と生徒アンケート「学校行事に積極的に参加している」90%以上 ②部活動の加入率及び大会・コンクール等での実績や成果を昨年度以上			
3	【現状】 ○令和2年度は野球部が小高交流事業に参加できた。また、整備委員会を中心にクリーン作戦を実施し、校外周辺の清掃活動を実施した。 【課題】 ○小高交流事業等の地域への貢献活動を積極的に推進する。また、生徒募集上のPRもふまえてマスメディアを利用して地域へ広報活動を進めていく。 ○今後もPTA・後援会と連携して、教育活動における環境整備を推進する。	○全教職員が広報マンとなって、広報活動に取り組む。 ○昨年度実施できなかったPTA・後援会の活動を感染症対策を取りながら計画通りに実施する。	①広報活動とあわせて、小高交流やボランティア活動などを積極的に実施する。 ②学校説明会や学校見学会に加え、中学校や塾へも積極的に情報提供する。 ①一斉メールやHPなどにより定期的な学校の情報を提供する。 ②保護者の意見や要望を取り入れながら、実施方法を改善して取り組む。 ③総会、役員会についてはすべて紙面開催とする。	①小高交流事業の実施、部活動の地域交流、ふれあいクリーン作戦などのボランティア活動の参加状況 ②学校説明会や見学会の実施状況と参加者数 ①②保護者アンケート「本校に通わせてよかった。」(入学満足度)90%以上維持 ③総会、役員会の開催状況			

学 校 関 係 者 評 価	
実 施 日	令 和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	